



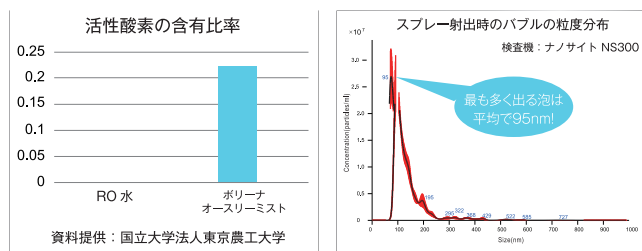
オゾンとは

オゾンとは酸素の同素体、常温で特有の臭いをもつ気体です。殺菌・脱臭・有機物分解などの作用があるとされています。オゾン水とはオゾン溶于した水のことです。オゾンの酸化力は、フッ素に次いで高いとされており、除菌、脱臭作用を生み、反応後は酸素に変化するため、残留性も無く環境にやさしく安全であることが特徴です。

活性酸素を含んだ ウルトラファインバブルを 10億個射出 1mlあたり

浸透性の高い ウルトラファインバブルを含有

当製品は活性酸素を含んだウルトラファインバブルを10億/ml以上含んだミストを射出します。活性酸素は、酸化力が高く細菌やウイルスの不活性化に大きく寄与しているといわれています。ウルトラファインバブルが持つ浸透性の特徴と、活性酸素の相乗効果により、オゾンがもたらす除菌・消臭効果に期待されます。



RO水（限りなく純粋に近い水）と比較をしたところオースリーミストから噴霧したオゾン水は活性酸素が含まれていることが分かります。

オースリーミストから噴霧したオゾン水の泡の大きさを確認したところ最も多く出ている泡は平均で95nm(0.000095mm)であることが分かります。

除菌 除菌作用

食中毒の原因菌をはじめとしたあらゆる菌を除去

オゾン発生装置によるオゾン水の抗菌性評価

検体名：ポリリーナ オースリーミスト
検体のケースに水を入れ通電し、噴霧したものを試料とした。
試験項目：大腸菌への殺菌効果試験
試験機関：（一社）愛知県薬剤師会

オゾン水による大腸菌への殺菌試験結果			
	生菌数 (CFU/ml)	対照比 (%)	菌数減少率 (%)
対照水	7.3x10 ⁶	100	—
オゾン試験水	<10	0.000137	99.99986

オゾンによる除菌のメカニズム



オゾンによる除菌は「溶菌」と呼ばれ、タンパク質とオゾンが化学反応することで、細菌の細胞壁（膜）が破壊され、細胞内成分が漏れて死亡するため繁殖を防ぎます。そのため、薬剤による除菌と違いオゾンによる除菌は「耐性菌」をつくりません。

エビデンス取得

第3機関で検査を行い除菌に対するエビデンスを取得しました

新型コロナウイルス
SARS-CoV-2

A型インフルエンザ
ウイルス

食中毒原因菌
4種

※（一財）日本繊維製品品質技術センター（QTEC）調べ ※（一社）愛知県薬剤師会調べ

脱臭 脱臭作用

トイレ臭をはじめとした悪臭の原因であるアンモニアを55%抑制

何もしていない状態を100とし、臭いのガスにオースリーミストを噴霧したところ10分で45%まで減らすことが出来ました。

アンモニアの脱臭効果試験

検体名：ポリリーナ オースリーミスト
検体のケースに水を入れ通電し、噴霧したものを試料とした。
試験項目：アンモニアの脱臭効果試験
試験機関：（一財）日本食品分析センター

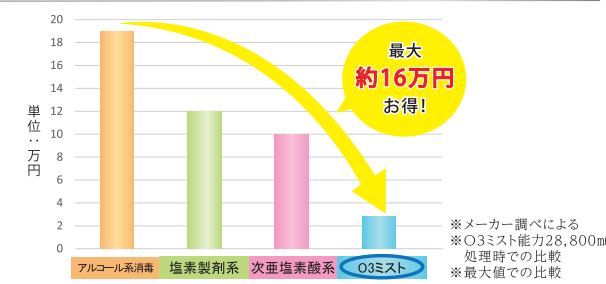
		アンモニアの脱臭効果試験 (単位：ppm)				
試料区分		10min	30min	1h	3h	6h
試料	45	40	37	35	35	
空試験	100	96	94	89	80	

初期ガス濃度：約100ppm

噴霧後10分で
55%抑制！

優れたコストパフォーマンス

一般的に市販されている3種類の除菌製品と比較最大で約16万円もお得に



使い方 HOW TO USE

水道水を入れてスイッチを押すだけ



本製品の推奨水温は5～20℃です。

- 生成したオゾン水は、数分～30分程度で水に戻ります。
- オゾン水は、生成時の水温によって、濃度が変動します。水温が低いとオゾン水濃度は高く生成され、水温が高いと低く生成されます。夏場などで水温が20℃を超えると、想定したオゾン濃度に達しない場合があります。
- 水温が20℃を超える場合は冷蔵庫に保管した水か水で水温を低下させてからご使用ください。

世界最小クラス

どこでも携帯できる
コンパクト設計

いつでもどこでも
気になるところに